

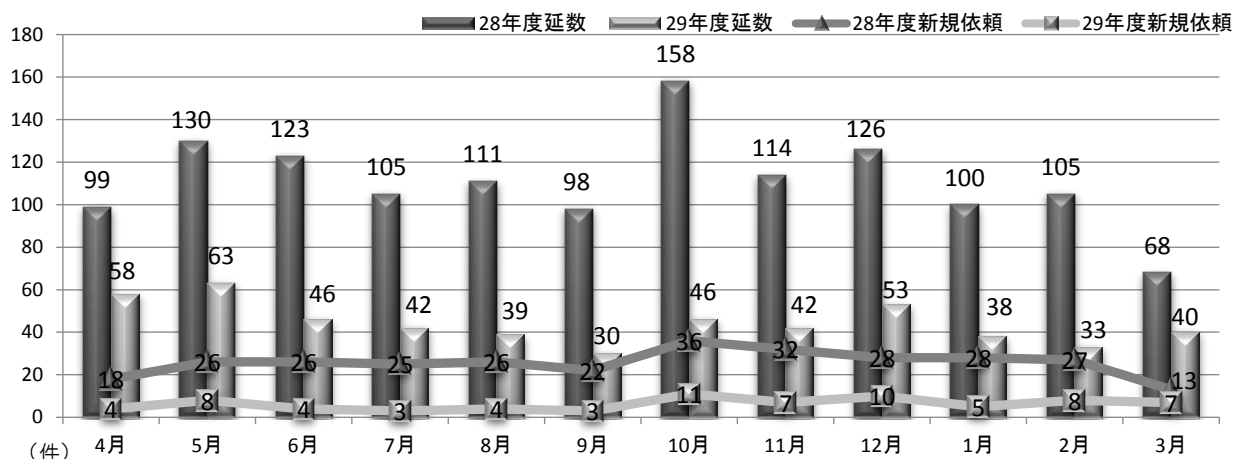
VI 精神科リエゾンチーム



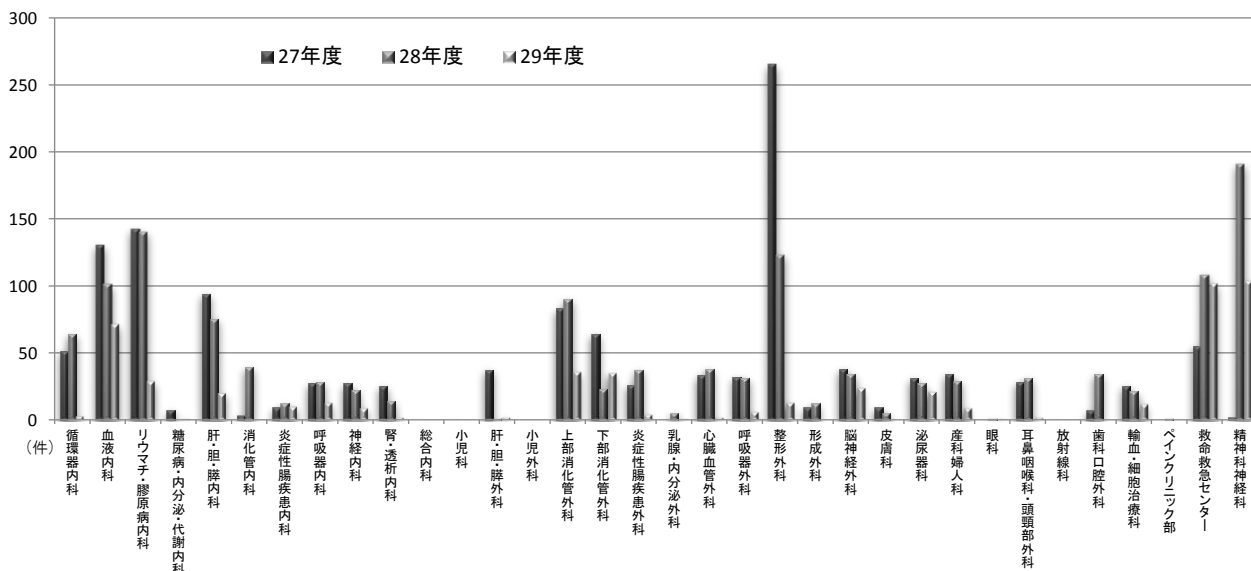
近年、救急病棟や内科病棟に入院する患者さんの中で、精神的な問題を生じる人が増えている。精神科リエゾン医学はそういった、一般病棟での精神的な問題に対応するために発展してきた身体とところをつなぐ医学である。精神科リエゾンチームは、この精神科リエゾン医学の考え方を基に、多職種が連携し、身体とところのつながりに焦点をあてた医療や支援のため、平成24年10月から活動を始めた。29年度の実施延件数、新規依頼件数および診療科別の推移は下記の通りである。

29年度における件数は、27年度、28年度に比べ、新規依頼件数、延件数ともに減少した。これには精神科リエゾン看護師の退職に伴うシステム・体制の変化が大きく関与している。従来の直接リエゾンチームに依頼をしていただく、という方法がとれず、精神科コンサルトを第一の窓口としたこと、かつ、マンパワーの不足のためチーム活動の規模を縮小せざるをえなかったためと考えられる。その中でも、救急部からの依頼件数は新規、延人数ともに昨年度と比べ大きな差はない。これには、救急部における継続的な精神科リエゾンチームのかかわりが必要、かつ重度の症例が多いことがまず考えられる。ニーズが高まっているが、マンパワーが少ないというのが精神科リエゾンチームにおける現状である。今後は、各科からの期待に応えるためにも、まずはマンパワーの確保が必要と考えている。

VI-1 年度別月別精神科リエゾンチーム実施延件数（28年度合計1,337件、29年度合計530件）と新規依頼件数



VI-2 精神科リエゾンチーム診療科別実施延件数の年度別推移（27年度合計1,293件、28年度合計1,337件、29年度合計530件）



VI-3 年度別精神科リエゾンチーム診療科別実施延件数

(件)

区分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	29年度 構成比率 (%)
循環器内科	55	37	51	64	3	0.6
血液内科	26	63	130	101	71	13.4
リウマチ・膠原病内科	68	88	142	140	29	5.5
糖尿病・内分泌・代謝内科	-	23	7		1	0.2
内分泌・代謝科	12	-	-	-	-	-
肝・胆・膵内科	27	26	94	75	20	3.8
消化管内科	23	15	3	39		
炎症性腸疾患内科	-		9	12	10	1.9
呼吸器内科	3	18	27	28	13	2.5
神経内科	28	47	27	22	9	1.7
腎・透析内科	97	18	25	14	2	0.4
総合内科	1	-	-	-	-	-
小児科	23	6				
肝・胆・膵外科	46	51	37	1	2	0.4
小児外科	6	7				
上部消化管外科	41	50	83	90	35	6.6
下部消化管外科	17	35	64	23	36	6.8
炎症性腸疾患外科	-	47	26	37	4	0.8
乳腺・内分泌外科		2		5	1	0.2
心臓血管外科	60	37	33	38	2	0.4
呼吸器外科			32	31	6	1.1
整形外科	58	247	265	123	13	2.5
形成外科	14	16	9	12		
脳神経外科	4	5	38	34	24	4.5
皮膚科	31	4	9	5		
泌尿器科	17	32	31	27	21	4.0
産科婦人科	8	9	34	29	9	1.7
眼科		6		1	1	0.2
耳鼻咽喉科・頭頸部外科	15	29	28	31	2	0.4
放射線科	3					
歯科口腔外科		22	7	34		
輸血・細胞治療科	-	-	25	21	12	2.3
ペインクリニック部		2		1		
救命救急センター	59	178	55	108	101	19.1
小計	742	1,120	1,291	1,146	427	80.6
精神科神経科		7	2	191	103	19.4
合計	742	1,127	1,293	1,337	530	100.0